

このメディアに含まれるデータ（自然環境情報GIS）について  
令和4年4月  
環境省自然環境局 生物多様性センター

## 1. はじめに

自然環境情報GISは、環境省生物多様性センターで実施している自然環境保全基礎調査（以下、「基礎調査」）の成果のうち、自然環境に関係する地理情報を地理情報システム（GIS）で利用しやすいようにまとめた電子データのセットです。  
今回一般提供されるデータは、平成29年度から実施している「気候変動適応計画推進のための浅海域生態系現況把握調査」で作成したものです。

## 2. データ内容について

### （1）ファイルの種類と形式

図形ファイル（ベクタデータ）：shp形式。「.shp」「.shx」「.dbf」の三種類で1セットとなります（なお「.prj」ファイルは、米国ESRI社製ArcGISにおいてシェープファイルの座標系等を読み込むためのファイルです）。  
属性ファイル（各図形ファイルの詳細な属性データ）：各種表計算ソフト、データベースソフトなどで利用可能なcsv形式。

### （2）データの内容

礁池内におけるサンゴ被度の変化について、「令和3年度気候変動適応計画推進のための浅海域生態系現況把握調査（以下、「令和3年度調査」と記す。）」と過年度調査結果を比較した結果を示しています。  
比較した調査は、下記のとおり。

- ・第4回自然環境保全基礎調査（海域生物環境調査）（環境庁, 1989-1991年度）  
※以降、「第4回基礎調査」と記す
- ・第5回自然環境保全基礎調査（海辺調査）（環境庁, 1997-2000年度）  
※以降、「第5回基礎調査」と記す
- ・サンゴ礁マッピング手法検討調査業務（環境省, 2008年度）  
※以降、「H20年度調査」と記す

各ベクタデータが示している結果は下記のとおり。

- ・変化域\_種子島\_屋久島\_H20vsR03corlalmap  
H20年度調査から令和3年度調査にかけてのサンゴ被度の変化

- ・変化域\_種子島\_屋久島\_第4回vsR03corlalmap  
第4回基礎調査から令和3年度調査にかけてのサンゴ被度の変化

- ・変化域\_種子島\_屋久島\_第5回vsR03corlalmap  
第5回基礎調査から令和3年度調査にかけてのサンゴ被度の変化

### （3）座標系

世界測地系（WGS84）に基づく10進経緯度座標系で作成されています。

### （4）位置情報の精度

各情報の位置精度は、調査・地域・時期によって異なるため、複数のデータを重ね合わせた場合に境界線等が一致しないことがあります。

### （5）情報の時間精度

調査成果の情報は、調査実施時点、または図面作成時点のものでありますので、現状とは異なる場合があります。

### （6）文字コード

日本語の文字コードはUTF-8を使用しています。

## 3. データ利用上の注意

### （1）著作権と引用等の手続きについて

本データセットの著作権は環境省にあります。このデータを引用・利用・複製・提供される場合には、手続きが必要になります。

生物多様性情報システム（略称J-IBIS）にある下記ページをご参照のうえ、必要な手続きをお取り下さい。

「データの利用・複製の手続きについて」

<https://www.biodic.go.jp/copyright/index.html>

#### （２）図形ファイルと属性ファイルの結合について

本データセットの図形ファイル（shp形式）の属性には、識別コード等が入力されています。各識別コードの内容は、属性ファイル（csv形式）に記載されていますので、これらをご参照下さい。

#### （３）基礎調査の内容について

本データは、「気候変動適応計画推進のための浅海域生態系現況把握調査」の報告書に掲載している図面のデータを電子化したものです。本調査の内容（調査項目、調査方法など）を詳しくお知りになりたい場合は、下記リンクで公開されている報告書をご覧ください。

[https://www.biodic.go.jp/kiso/44/44\\_kikou.html#mainText](https://www.biodic.go.jp/kiso/44/44_kikou.html#mainText)

#### （４）本データセットに関する問い合わせ先

環境省 自然環境局 生物多様性センター  
403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1

Tel:0555-72-6033

Fax:0555-72-6035

ホームページ：<https://www.biodic.go.jp/>

E-mail：[biodic\\_webmaster@env.go.jp](mailto:biodic_webmaster@env.go.jp)

#### 4. 参考

平成29年度 石西礁湖の調査を実施

平成30年度 久米島、宮古島、沖永良部島、多良間島及び与論島の調査を実施

令和元年度 奄美大島、喜界島、徳之島の調査を実施

令和2年度 釧路列島、父島列島、母島列島、西之島、火山列島、南鳥島、沖ノ鳥島の調査を実施

※釧路列島、嫁島、北硫黄島、硫黄島、南硫黄島、沖ノ鳥島、南鳥島、西之島については、現地調査を実施していないため、サンゴ礁推定分布図を作成した。

令和3年度 大隅諸島、トカラ列島の調査を実施

※屋久島・種子島以外の大隅諸島、口之島以外のトカラ列島については、現地調査を実施していないため、サンゴ礁推定分布図を作成した。

以上